

京王アリーナ TOKYO のデフバドミントン観戦記

きこえない・きこえにくい選手の国際スポーツ大会「東京2025デフリンピック」が日本で初めて開催され、競技の1つであるデフバドミントンが市内の京王アリーナTOKYOで11月16日～25日に行われた。音のない世界でプレーする選手への応援はどうするのか？会場の雰囲気は？など興味深い点が多々あり、11月17日(月)に3階の観覧席から観戦した。予約なしで無料。11時過ぎに入場したが、第1コート(7面ある)では日本の矢ヶ部真衣選手がロシアの選手と試合中。シャトルを打上げる鋭い音が響き、観客は頭の横に掲げた両手のてのひらをヒラヒラ動かして応援。拍手に変わるサインエールである。観客席にはモニターが設置され競技中の音(スパツ、パーンなど)を表示、デジタル技術による「音の見える化」である。午後からの混合ダブルスで森本悠生選手と片山結愛選手が登場した。スタンド前列には片山選手応援の大きい寄せ書きが飾られ、両手でグーを作り2回上下する「がんばれ」のサインエール



【デフバドミントン混合団体戦表彰式】日本金メダル

も多く見られた。「外国の選手とすれ違うとき、このサインで応援しますね」とボランティアが話す。試合は面白く、多様な人が尊重し合う共生社会の大切さを実感した1日であった。(大泉 清)

伝統の儀式と食のイベント 晩秋の深大寺を彩る

紅葉が見ごろを迎えた11月22日(土)から30日(日)まで、深大寺では「第44回深大寺そばまつり」が開かれた。期間中は多くの参拝者や観光客で賑わい、休日には各蕎麦屋に長い行列が出来るほど。蕎麦の他にも団子やお焼きなどの食べ歩きを楽しむ姿が見られた。

また深大寺では23日(祝)、年に一度の「大般若転読会」に加え、特別儀式「深大寺 磬(けい) お里帰り」が深沙大王堂で執り行われた。大般若転読会は約600巻に及ぶ大般若経の経巻を大きく広げ、声を発して読み上げる法要。深大寺境内からのお練りに始まり、深沙大王堂では経巻を繰る音や僧侶たちの荘厳で迫力のある祈りが響き渡った。

磬は読経の際に僧侶が磬架に吊して打ち鳴らす。仏教伝来とともに日本に伝えられた法具とされ、今回の磬は「深大寺」の寺号が確認できる最古の文字資料でもある。長い間高野山真言宗善勝寺(相模原市緑区)に所蔵されていた。今回、善勝寺の厚意で里帰りが実現したという。

この日は実に700年ぶりに古来の素朴な音色を響かせた。



【躍動感あふれる大般若転読会】
左端上部にあるのが磬(けい)

【FC 東京応援記】

11月の試合、9日のリーグ町田戦は1-0と勝利し、これまで3戦全敗の屈辱を晴らすべく、気合の入った内容だった。やればできると連勝を期待したが、続く16日の同じ町田との天皇杯準決勝は我慢して戦っていたものの延長戦の末に0-2で敗退。タイトルへの道が閉ざされ、非常に悔しい結果となった。そして30日のリーグ神戸戦の0-0は内容も含め不甲斐なく、あと1試合を残し、順位も11位から上がらないことが確定。ホームでの最終戦ではチームとして今年積み上げたもの、来期の栄光を期待させる試合を見せてほしい。(東京イチロー)

ちょビット

No.52

調布社協 インフォメーション

今年も12月1日から、自治会の皆さんをはじめ、多くの市民の方々のご協力のもと、歳末たすけあい運動が始まります。お寄せいただいた募金は、相談事業、高齢者会食サービス、ハンディキャブ事業など調布市内の地域福祉活動への推進に使われています。窓口のほか郵便振込、オンラインでも受け付けております。詳細は HP へ



2025年12月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！



調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 15日	① 調布市環境フェア スポ GOMI 大会 in 調布 晴天に恵まれた11月1日、ゴミ拾いをスポーツ感覚で競う、スポ GOMI 大会が初めて調布で開催され、34チーム、125名がエントリーしました。ごみの重量とルールに基づいたポイント数を競うスポ GOMI は、日本発祥の新しいスポーツです。ゴミ袋を手に次々とゴール。集計の後、結果発表と表彰式が行われました。 ② 調布市災害ボランティアセンターICT 活用訓練 災害ボランティアセンターは、自然災害による被災者の生活課題を解決するために、ボランティアの活動を調整します。情報通信技術(ICT)を活用する訓練の様子をお伝えします。					
16日 31日	① ゲゲゲ忌2025～調布のまちで多彩なイベント開催～ 「ゲゲゲ忌」は今年で10年目を迎え、名誉市民・水木しげるさんに関連した多彩なイベントが開かれました。番組では、水木しげるさんゆかりのスポットなどを巡ってスタンプを集める「ゲゲゲのスタンプラリー」、調布駅前商店街や京王電鉄などでの取り組みを紹介すると共に、水木作品に登場するキャラクターのコスプレで溢れた市役所前庭など、盛り上がったまちの様子をご覧ください。					



ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM: 83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内 容	ご 紹 介
12月	1日(放送)	宮本苑生の『詩の世界』	前半は吉田義昭詩集『海と重力』から「余命」と「月と花火」を、後半は歌曲になった詩の数篇をお届けします。 解説: 宮本苑生 朗読: 峯田里香子
	8日(再放送)	吉田義昭さんの詩の朗読	
	15日(再放送)		
	22日(放送)	ゲスト: 真光書店店主、日本書店商業組合連合会会長の矢幡秀治さん	次々と姿を消す街の本屋さん、愛される店づくりに知恵を絞る一方、全国の書店組合の会長としても頑張っている矢幡さんに元気の秘密をお聞きしました。 インタビュアー: 真山勇一

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)

(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)

(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式 HP】



【アーカイブサイト】



【フェイスブック支局】



自宅を狙った犯罪が多い。 年末は来訪者に注意

人の出入りが多い年末は自宅を狙った犯罪が目立つ。玄関など出入口や窓はしっかり施錠。調布警察署(電話 042-488-0110)では「年末年始は来訪者に注意。悪質な業者も多い。インターホンなどで相手の用件を確認し、ドアを開ける場合もドアチェーンを使用するなど慎重な対応を」と呼び掛け。

掃除中の事故は大掃除をする 12月に発生することが多い

12月は大掃除の季節。落下や転倒などでケガをすることが多い。窓や天井など高いところの掃除では安定した足場(脚立など)を使いましょう。調布消防署(電話 042-486-0119)では「風呂場では滑って転倒しやすい、また塩素系の洗剤と酸素系の洗剤を混ぜて使うと有毒ガスを発生すること」と注意喚起。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2 階 市民活動支援センター気付

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14